

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成29年8月1日
【四半期会計期間】	第54期第1四半期（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）
【会社名】	ワタベウェディング株式会社
【英訳名】	WATABE WEDDING CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役 社長執行役員 花房 伸晃
【本店の所在の場所】	京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20番地
【電話番号】	075（778）4111（代表）
【事務連絡者氏名】	グループ管理本部長 平木 親臣
【最寄りの連絡場所】	京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20番地
【電話番号】	075（778）4111（代表）
【事務連絡者氏名】	グループ管理本部長 平木 親臣
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第53期 第1四半期連結 累計期間	第54期 第1四半期連結 累計期間	第53期
会計期間	自平成28年4月1日 至平成28年6月30日	自平成29年4月1日 至平成29年6月30日	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
売上高 (百万円)	11,086	11,493	43,908
経常利益 (百万円)	23	459	674
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	12	302	123
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	414	254	246
純資産額 (百万円)	9,892	10,744	10,540
総資産額 (百万円)	18,956	20,823	21,336
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	1.23	30.57	12.47
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	51.9	51.3	49.1

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載して
おりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第1四半期連結累計期間における運営状況と経営成績について、「リゾート挙式」におきましては、主力エリアであるハワイにおいて、平成29年4月に“大人の社交場”をテーマとしたパーティ会場「ザ・バンケットハーバーコート」、5月には「プリンスワイキキ」の33階にハワイで唯一のスカイビューチャペルとなる「ラニレアチャペル」をオープンし、さらに、人気の高いワイキキエリアのホテルとのコラボレーション挙式商品を発表するなど、多様化するニーズに応える商品ラインナップを取り揃え、販売を強化してまいりました。また、年間婚姻組数の約40%を占めるといわれる結婚式をしない「ナシ婚」と呼ばれるカップルなど、これまでの店舗での接客販売手法では取り込めなかった顧客層へ向けて、「手軽」「低価格」という新たなリゾート挙式の価値提案を行うべく、来店不要のオンライン限定で挙式の申し込みが完結する新ブランド「EASY by WATABE WEDDING」のサービスを5月に開始いたしました。そのような状況の中、リゾート挙式においては、競争環境の激化により、挙式取扱組数は減少する結果となりましたが、1組当たり単価の上昇や収益構造の改善等により、売上高は前年同四半期比微増、セグメント利益は改善となりました。

「ホテル・国内挙式」におきましては、目黒雅叙園が平成29年4月に施設名を「ホテル雅叙園東京」へとリブランドし、5月には人気イタリアン「リストランテ カノピアーノ」を館内にオープンするなど、総合ラグジュアリーシティホテルとしてのブランド価値訴求を積極的に行い、宿泊・婚礼共に好調に推移いたしました。メルパルクでは、松山・横浜の客室リノベーション効果により、単価の向上を実現するとともに、コスト構造の見直しを行いました。その結果、ホテル・国内挙式においては前年同四半期比で増収増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高11,493百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益446百万円（前年同四半期比54.5%増）、経常利益459百万円（前年同四半期 23百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益302百万円（前年同四半期 12百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値は、セグメント間の取引消去後となっております。

リゾート挙式

挙式取扱組数は減少したものの、顧客ニーズに合わせた商品展開を行ったことなどにより、一組当たり単価が増加し、売上高は4,650百万円（前年同四半期比1.8%増）となったほか、利益面につきましては、挙式コストの削減に取り組んだことなどから、セグメント利益は103百万円（前年同四半期 セグメント損失39百万円）と増収増益の結果となりました。

ホテル・国内挙式

挙式取扱組数は減少したものの、積極的なブランド価値訴求や客室リノベーションなどの効果により、売上高は6,843百万円（前年同四半期比5.0%増）となったほか、セグメント利益についても342百万円（前年同四半期比28.8%増）となり、増収増益の結果となりました。

(2) 財政状態の分析

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,198百万円減少し、8,262百万円となりました。これは主に売掛金が増加した一方で、現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ685百万円増加し、12,561百万円となりました。これは主に建物及び構築物が増加したことによるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ512百万円減少し、20,823百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ934百万円減少し、8,025百万円となりました。これは主に流動負債のその他の減少によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ217百万円増加し、2,054百万円となりました。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ716百万円減少し、10,079百万円となりました。

純資産残高は、前連結会計年度末に比べ204百万円増加し、10,744百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	22,000,000
計	22,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成29年8月1日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,909,400	9,909,400	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	9,909,400	9,909,400	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (百万円)	資本金 残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成29年4月1日～ 平成29年6月30日	-	9,909,400	-	4,176	-	4,038

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第 1 四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成29年 3 月31日）に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

平成29年 6 月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 400	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 9,906,300	99,063	-
単元未満株式	普通株式 2,700	-	-
発行済株式総数	9,909,400	-	-
総株主の議決権	-	99,063	-

【自己株式等】

平成29年 6 月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合（％）
ワタベウェディング 株式会社	京都市下京区 四条通烏丸東入 長刀鉾町20番地	400	-	400	0.00
計	-	400	-	400	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,436	4,316
売掛金	1,580	1,670
商品	276	270
原材料及び貯蔵品	398	397
その他	1,784	1,621
貸倒引当金	15	14
流動資産合計	9,460	8,262
固定資産		
有形固定資産		
貸衣裳(純額)	147	148
建物及び構築物(純額)	4,012	4,927
器具備品(純額)	999	1,069
土地	1,893	1,893
その他(純額)	630	178
有形固定資産合計	7,684	8,217
無形固定資産		
のれん	507	595
その他	496	471
無形固定資産合計	1,003	1,066
投資その他の資産		
差入保証金	2,666	2,767
その他	524	513
貸倒引当金	3	3
投資その他の資産合計	3,187	3,276
固定資産合計	11,875	12,561
資産合計	21,336	20,823
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,549	1,477
短期借入金	975	1,229
前受金	2,466	2,542
賞与引当金	626	288
その他	3,341	2,488
流動負債合計	8,959	8,025
固定負債		
退職給付に係る負債	1,050	1,047
資産除去債務	588	797
その他	197	209
固定負債合計	1,836	2,054
負債合計	10,796	10,079

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,176	4,176
資本剰余金	4,038	4,038
利益剰余金	2,578	2,832
自己株式	0	0
株主資本合計	10,792	11,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19	21
繰延ヘッジ損益	25	18
土地再評価差額金	903	903
為替換算調整勘定	514	475
退職給付に係る調整累計額	36	26
その他の包括利益累計額合計	308	362
非支配株主持分	55	61
純資産合計	10,540	10,744
負債純資産合計	21,336	20,823

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 6 月30日)
売上高	11,086	11,493
売上原価	3,685	3,598
売上総利益	7,400	7,895
販売費及び一般管理費	7,111	7,448
営業利益	289	446
営業外収益		
為替差益	-	38
その他	25	26
営業外収益合計	25	64
営業外費用		
為替差損	282	-
休止施設費用	-	47
その他	8	5
営業外費用合計	291	52
経常利益	23	459
特別利益		
固定資産売却益	41	2
関係会社株式売却益	60	-
特別利益合計	102	2
特別損失		
固定資産除売却損	34	1
施設店舗整理損	35	11
その他	2	-
特別損失合計	72	12
税金等調整前四半期純利益	53	449
法人税等	37	140
四半期純利益	16	308
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	12	302

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	16	308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	1
繰延ヘッジ損益	173	7
為替換算調整勘定	240	39
退職給付に係る調整額	0	10
持分法適用会社に対する持分相当額	3	0
その他の包括利益合計	430	54
四半期包括利益	414	254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	414	248
非支配株主に係る四半期包括利益	0	5

【注記事項】

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

当第1四半期連結会計期間より、株式取得に伴い、Propeller USA Inc.及びHi-Standard Film.LLCを連結範囲に含めております。

（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（連結納税制度の適用）

当社及び一部の連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）
減価償却費	361百万円	358百万円
のれんの償却額	-	6

（株主資本等関係）

前第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

配当金支払額

（決 議）	株式の種類	配当金の総額 （百万円）	1株当たり 配当額 （円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月29日 定時株主総会	普通株式	49	5	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）

配当金支払額

（決 議）	株式の種類	配当金の総額 （百万円）	1株当たり 配当額 （円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月29日 定時株主総会	普通株式	49	5	平成29年3月31日	平成29年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	4,567	6,518	11,086	-	11,086
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,524	40	1,565	1,565	-
計	6,092	6,559	12,652	1,565	11,086
セグメント利益又は損失()	39	265	225	63	289

(注) 1. セグメント利益又は損失()の調整額63百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リゾート挙式	ホテル・ 国内挙式			
売上高					
外部顧客への売上高	4,650	6,843	11,493	-	11,493
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,905	40	1,945	1,945	-
計	6,555	6,884	13,439	1,945	11,493
セグメント利益	103	342	445	1	446

(注) 1. セグメント利益の調整額1百万円は、主にセグメント間取引消去と未実現利益消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 6 月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	1円23銭	30円57銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 金額 (百万円)	12	302
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額 (百万円)	12	302
普通株式の期中平均株式数 (株)	9,909,074	9,908,949

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 7月28日

ワタベウェディング株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	山田 美樹	印
--------------------	-------	-------	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	木戸脇 美紀	印
--------------------	-------	--------	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	上田 博規	印
--------------------	-------	-------	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているワタベウェディング株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ワタベウェディング株式会社及び連結子会社の平成29年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- （注）1．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2．X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。